



かもさと



議会 だより

- ◇11月臨時会の審議状況 ……P 2
- ◇12月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇堤防補強工事が始まりました…P 4
- ◇12月定例会一般質問に9人…P 5
- ◇3月定例会会期日程等 ……P14

陽春の光を抱きて

94

要旨 上里町公民館設置及び管理条例の一部を改正する等の条例

要旨 「上里町公共施設再配置・維持保全計画」に基づき、上里町中央公民館の所在地を上里町総合文化センターへ移動し、上里町コミュニティセンターを廃止するものです。

要旨 上里町課設置条例の一部を改正する条例

要旨 まち整備課が所管している道路部門とまちづくり部門について、行政組織の見直しを行うものです。

要旨 上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

要旨 「つわり等の妊娠障害に係る休暇」、「不妊治療のための休暇」等の特別休暇を新たに設けるため、所要の改正を行うものです。

要旨 上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例

要旨 水道料金等の改定、及び大口使用者との個別需給給水制度の創設等について、所要の改正をするものです。

要旨 上里町下水道条例の一部を改正する条例

要旨 下水道法の改正に伴い、既存の引用条文について条々が生じるため改正するものです。

要旨 上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 書面等により行うこととされているものについて、電磁的方法による対応も可能とする改正を行うものです。

要旨 上里町森林環境譲与税基金条例について

要旨 森林の環境整備及びその促進に関する施策に要する経費の財源に充てるため、上里町森林環境譲与税基金を設置するものです。

◆ その他 ◆

要旨 上里町公の施設の指定管理者の指定

要旨 上里町立図書館及び上里町立郷土資料館について指定管理者による管理を実施するため、指定管理者を指定するものです。

◆ 令和3年度補正予算 ◆

要旨 上里町一般会計補正予算(第7号)

概要 歳入歳出それぞれ2億1998万8千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ98億6706万円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・ 児玉工業団地アクセス道路事業 7683万6千円
- ・ 障害者福祉事業 5639万5千円
- ・ 予防対策事業 2480万8千円

要旨 上里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

概要 一般被保険者療養給付費1億2612万6千円等を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ32億1853万6千円とするものです。

要旨 上里町介護保険特別会計補正予算(第2号)

概要 施設介護サービス給付事業3653万7千円等を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ20億5460万8千円とするものです。

要旨 上里町一般会計補正予算(第8号)

概要 子育て世帯への臨時特別給付金事業2億5053万3千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ101億1759万3千円とするものです。

◆ 意見書 ◆

要旨 石炭火力発電所の廃止を求める意見書(案)

要旨 意見書を国へ提出することについて審議したものです。

12月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名	結果
上里町税条例の一部を改正する条例	結 果	可決
	新井 實	○
	高橋 仁	○
上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	高橋 仁	○
	沓澤 幸子	×
	納谷 克俊	○
上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	高橋 正行	○
	植井 敏夫	○
	植原 育雄	○
	齊藤 崇	○
	猪岡 壽	議
	仲井 静子	長
	飯塚 賢治	○
	高橋 勝利	○
	高橋 茂雄	○
	黛 浩之	○

議案	議員名					猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	植井敏夫	高橋正行	納谷克俊	沓澤幸子	高橋 仁	新井 實	結 果
	黨 浩之	高橋茂雄	高橋勝利	飯塚賢治	仲井静子										
上里町公民館設置及び管理条例の一部を改正する等の条例	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町課設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	可決
上里町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町森林環境譲与税基金条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町公の施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年	上里町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
石炭火力発電所の廃止を求める意見書（案）	○	×	×	×	○		×	×	×	○	○	○	×	否決	

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対)



烏川右岸利根川合流付近(八町河原地内)で堤防補強工事が始まりました

上里町議会では、令和2年8月18日「烏川・神流川の完成形堤防の早期実現及び河川浚渫工事しゅんせつ（※）に関する要望書」を国土交通省高崎河川国道事務所に提出しました。その要望の1つである烏川流域大字八町河原付近堤防の完成形への築堤工事が実現し、令和3年12月着工されました。今後も引き続き、要望活動を続けてまいります。

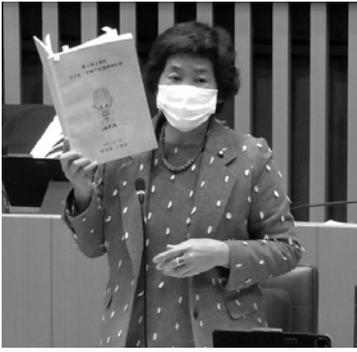
(※ 河川の流量を確保するため、底面をさらって土砂などを取り去る工事。)



総務経済常任委員会の現地視察



要望書の提出



仲井 静子

問 ヤングケアラーへの支援について

答

社会的認知度の向上や実態把握に努め適切に支援する

1 ヤングケアラー(幼き介護者)への支援について

問 ヤングケアラーについて、厚生労働省と文部科学省が全国の公立中学校と高校から抽出して実態を調べた結果、「世話をしている家族がいる」という生徒の割合は、中学生が5.7%でおおよそ17人に1人、高校生が4.1%でおおよそ24人に1人と言う結果でした。又、6割以上の子供が誰にも相談した事が無いと答えています。病気や障害がある家族の世話の為に時間を取られ、疲れ果てて学業に支障をきたし、学校に通う意欲も失って希望する進学や就職にも影響が出ている子供も少なくありません。町では、ヤングケアラーの実態についてどこまで把握しているか。

答 現時点において、事態の把握はできていない。ヤングケアラーの課題解決には、まず現状を正確に把握した上で、適正に対応する事が必要

と考えている。
問 相談できる体制がある事がヤングケアラーにとって重要なサポートになると考えるがいかがか。

答 支援のニーズを特定するアクセスメントを行い、関係機関と連携し、適切なサービスにつなげるなど必要な支援をしていく。又、今年度中に地域で活動されている民生・児童委員に対し説明会を開催し、理解を深めていく。

答 教育長 教職員は子どもと接する時間が長く、日々の変化に気づきやすい事から、ヤングケアラーについても早期発見しやすい立場にある。現在、教育現場では、学級担任は児童の健康状態、顔色、服装の乱れ、遅刻、欠席、忘れ物、学習意欲などを把握し、家庭とのやり取りを行い、児童の行動や変容を把握している。又定期的に生活アンケート調査を実施して「学校が楽しくない」「心配事がある」などと答えた児童生徒には、

個別に相談を実施し、組織的に解決を図っている。保護者や家庭とも連絡を取り状況の確認、対応策等についても協議している。
問 2020年のアンケート調査を実施した結果、ヤングケアラーの認知度は僅か16%でした。ケアラー自体が知られていない為必要な支援が届かない可能性があるため、社会的認知度を上げる取り組みが不可欠ではないか。

答 周知に当たっては、周りの大人はもちろん、子ども自身への周知も重要であると考えている。国の認知度向上集中取組期間に合わせて、来年

問 社会問題になっている高齢者の孤立死防止の観点から、今後どのような対策を講じるのか。

2 孤立・孤独対策について

度早々に広報やホームページ等で周知する。

答 町内の高齢者単身世帯は、令和2年は、前年より113人増加の、1968人。このような状況の中、誰にも看取られず亡くなる孤立死を未然に防ぐ為、高齢者の異変に気づくよう定期的な見守りや安否確認サービスを実施している。又、今年度の新たな取組みとして認知症や独居高齢者を対象とした緊急時に備える見守りキーホルダー事業の登録者情報を町と本庄警察署及び児玉郡市広域消防本部で共有し、迅速な対応が取れる体制を構築した。社会福祉協議会とも連携して、高齢者の見守り活動を推進し、孤立死防止に取り組む。

85歳以上の高齢者単身世帯は、令和2年は、前年より113人増加の、1968人。このような状況の中、誰にも看取られず亡くなる孤立死を未然に防ぐ為、高齢者の異変に気づくよう定期的な見守りや安否確認サービスを実施している。又、今年度の新たな取組みとして認知症や独居高齢者を対象とした緊急時に備える見守りキーホルダー事業の登録者情報を町と本庄警察署及び児玉郡市広域消防本部で共有し、迅速な対応が取れる体制を構築した。社会福祉協議会とも連携して、高齢者の見守り活動を推進し、孤立死防止に取り組む。





植原 育雄

問 公民館長の管理責任と職務内容について

答 会計年度任用職員だが責務を全うしてもらいたい

質問 1
公共施設再配置・維持保全計画について

問 社会教育法第23条の2（平成15年時の公民館の設置及び運営基準）の考え方は。

答 地域の実情に応じて、必要な施設及び設備を備えた町民の皆様が役立つ施設にする考えでいる。

問 公民館等と児童館との集約化（機能移転して複合化）する場合は調理室の設置は。

答 調理講習会や食育等の教育活動や、地域の様々な団体の活動の場として理解し認識しており、今後の必要性につき吟味し、町全体の公共施設とのバランスや財政状況等も勘案しながら慎重に検討して参りたい。

質問 2
長幡公民館について

問 公民館の管理と利用団体への対応について。

答 教育長 令和3年度に入り、雨漏りによる劣化が加速



長幡公民館

し、ご利用頂くには危険な状態になった。今後の長幡公民館は、長幡児童館との複合化計画を早めての実施を調整している。地区公民館長については令和3年度より会計年度任用職員として採用しているが、町職員として、又、地区公民館長として責務を全うしてもらいたい。利用団体への対応については、長幡公民館長から利用停止と代替施設案のお知らせをした。利用団体

全体の説明会の検討もしたが、来年度以降の定期利用が可能でな代替施設の見通しが無い状況なので、個別説明会となった。解散される団体もあると

のことが、公民館の利用停止を原因とした解散であれば、とても残念である。

質問 3
ヤングケアラーについて

問 自治体(町)が取れる対応策について。

答 教育長 学校教育現場では、児童・生徒の健康状態、顔色、服装の乱れ、遅刻、欠席、忘れ物、学習意欲等を把握し、

家庭とのやり取りを行い、児童・生徒の行動や変容を把握している。又、生活アンケートを実施し、「学校が楽しくない」「心配ごとがある」等、気になる回答の児童・生徒には個別に相談を実施。又、家庭とも連絡を取り状況を確認し組織的な解決を図っている。今後もヤングケアラーについて教職員が本人の支えになれるよう信頼関係を築き、つらい思いを独りで抱えさせない環境づくりが必要であり、町長部局の関係課と連携して対応したい。県教育局人権教育

質問 4
障害児・者の自立と地域社会創りについて

問 町としての応援協力体制について。

答 我国では、障害者基本法により、全ての国民が等しく基本的な権利を享有する個人として尊重され、障害の有無によつて分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指している。上里町

においても、障害福祉団体やNPO法人等の活動は非常に重要であり、会場の提供や開催の周知等、町として活動の支援に努めて参りたい。



納谷 克俊



問 終末処理場予定地跡に工場誘致を

答 あらゆる可能性について検討していきたい

質問 1 産業振興について

問 公共下水道終末処理場予定地の跡地に企業誘致を提案しますが、第1種農地であり、農業関連施設であることが求められます。

答 町とCJ、JAによる包括連携協定が結ばれましたが、関連する企業の冷凍餃子工場をこちらに誘致したらどうか。

問 下水道終末処理場の建設予定地の跡地は将来の活用方法を検討する場合においても農振法や農地法の規制の範囲内で行える事業計画の検討が必要ですが、また、都市計画法や建築基準法などの法令上の制限もあるが、農業関連施設の設置という目的という点においては農振法や農地法の基準の範囲内であると考えることが可能です。

現在、町が進めている加工・業務用野菜産地づくりプロジェクトにおける農産物加工施設の立地に関しては、操

業に向けたスケジュールの最適化のため、事業計画者による立地計画の見直しが行われています。

町内の工場立地を目指して、事業計画者との調整を行っていますが、今後、あらゆる可能性について検討したいと考えています。



下水道終末処理場予定地跡

質問 2 雨水排水対策について

問 元小山川第1排水区およびよそ67億円、古新田排水区およびよそ55億円という試算があります。両方で町の一般会計予算を超える額になります。検討結果を基に事業化するの

は容易ではないと思います。

そこで検討された中でも費用対効果が高いと思われる三田中通り周辺のスポット対策を早期に実施することを求めます。

答 雨水全体計画に沿った雨水排水整備が有効な対策と考えているが事業化には莫大な金額が必要であり、財政状況や河川整備状況も見据えて県と連携し、慎重に判断したい。

質問 3 JR神保原駅を中心としたまちづくりについて

問 そもそも構想案を示す前に地域の住民や利用されている方々のニーズを伺った上で何が必要か示していくべきであったと思います。

答 地元有志による発起人会議と課題解決に向けた考えについて検討し、本年3月に実施したアンケート調査で道路や駅前広場の整備、駅舎の検討、地域活性化の核となる高等学校校移転誘致計画の推進など、町の考えを町民の皆様にお示しました。

質問 4 上里スマートインター周辺関連の整備について

問 上里スマートインター周辺整備のロードマップについて伺います。

答 各ゾーンにおける取組等を含めた周辺地区の将来像を描いていくなど、上里サービスエリア周辺地区をさらに活性化させ、他の魅力的な道の駅やサービスエリアに負けない観光・交流の拠点となるよう努めていきます。

質問 5 道路整備について

問 児玉工業団地アクセス道路の進捗状況と開通見通しについて伺います。

答 今年度は延長190mの工事を実施しており、整備率は41%となる見込みです。開通見通しについては用地買収の必要があることから、現時点では答えられないが、早期開通できるように取り組めます。



齊藤 崇

問 長幡公民館の施設利用停止について

答 長幡児童館との複合化計画を1年前倒しする

質問 1

空き家対策について

問 県北空き家バンク（3市4町）制度が平成29年に設立され4年が経過、一向に実績が上がっていないと思うが。

答 現在、空き家バンクへの登録物件数は7件で、本町は0件となっています。今後も町のHPや広報等にも掲載するほか、あらゆる手段を駆使して周知に努める。

問 定住促進事業に代わっての空き家ハウスクリーニング事業、昨年度の実績は。

答 この事業は令和2年4月に空き家利活用推進事業として町への定住促進による地域の活性化を図ることを目的として発足。残念ながら2年度の利用件数は0件です。大きな理由の1つには、補助条件である県北空き家バンクへの登録の伸び悩みなどがあると考えられる。今後も空き家バンク制度を推進していき、空き家の減少と利活用推進を積

極的に支援していきたい。

問 令和2年度に委託料256万3000円の経費で空き家所有者実態調査（アンケート）をしたがアンケート結果の活用は。

答 今年の8月に関係部署で空き家対策に係る打ち合わせ会議を開催、アンケートの結果を活用しながら町内における空き家の実態と空き家所有者の意向等を情報共有し、各部署で取り組める対応や対策等を検討した。



空き家の状況

質問 2

町の公共施設について

公共施設再配置・維持保

全計画について、平成25年度に東洋大学に委託して「上里町公共施設白書」を策定してから令和3年度の今日までの推移は。

答 平成26年度に公共施設アセットマネジメント実施計画案の作成を皮切りに総合管理計画及び再配置・維持保全計画の策定に向けた検討等を実施している。

問 多くの町の公共施設が第1次計画期間（2020年度から2029年度）で改修や複合化が計画されています。

答 この計画に記載されている公共施設に関しては、建て替え事業である保健センター、老人福祉センター、福祉市民センターの3施設の複合化を含め予定通り進めていく。

問 町の義務として施設の安全性を優先して町民に提供しているか。閉館となった長幡公民館利用者は安全性が不十分な施設に移らなければならぬのか。

答 令和2年度に点検マニユ

アルを作成し、これまでの事後保全から予防保全に切り替え、施設ごとに点検を行うことで適正な維持管理に努め、安全確保を図っていきたい。

長幡公民館については、老朽化によりやむを得ず施設利用の停止をしたが、長幡児童館との複合化計画を1年前倒して対応したい。

質問 3

公務員制度について

問 会計年度任用職員について正規職員との格差は。

答 会計年度任用職員は単年度での任用となるので、その点を考慮した上で仕事の分担を行っている。基本的には指示を受けて作業するという役割分担になるが、一職員として議論に加わっていただくことや町民対応も積極的に行っていたらいい。令和3年度の会計年度任用職員の雇用人数は正職員189人に対して町部局と教育部局併せて153人になる。



高橋 勝利



問 今後もケースバイケースで給食費減免を行うのか

答 必要に応じて支援を行いたい

1 町長在任期間が残り4か月になった事について

問 今後とも引き続き行政運営をして行く気持ちはあるのか町長にお聞きします。

答 春には、いよいよ町議会議員選挙、町長選挙が執行されます。

私は、平成30年に町長に就任して以来、一貫して全国の自治体から選ばれる町、住み続けたい町を掲げ、行政の様々な改革と新たな施策展開に全力を注いでまいりました。町民の皆様のご理解とご協力があったのであれば、引き続き上里町のかじ取り役として、誠心誠意全力を傾注してまいります。

問 町長在任この4年間の総括をして頂きたい。

答 福祉行政、教育行政、災害対策、町民のコミュニティの推進などを図る一方、道路基盤をはじめとする住環境の整備として、児玉工業団地アクセス道路の推進、三田西交

差点の信号機の設置、リバーサイドロード工事着手、また、

空の杜保育園の竣工、神保原・長幡小学校、上里北中学校の

校舎改修工事、そして神保原駅北口周辺整備の検討を進め

てきました。振り返って見ますと、無我夢中で果敢に町政

発展のために挑戦してきた4年間だったと思います。

2 町長報酬50%減額の活用について

問 町長選の選挙公約である、町長報酬50%減額の使い道についてお聞きします。

答 公約の1つに町長報酬を削減し、福祉、教育に使うべきだと訴え、町民の皆様にご明確なメッセージを伝えるという意思を持って町長に就任し、

報酬50%減額を実行致しました。教育・福祉施策については、小・中学校改修工事や中学校生徒に対するヘルメット補助をはじめ、18歳までの医療無償化、高齢者給食支援、子ども食堂開設といった事業

を実施してきました。

3 学校給食無償化について

問 平成18年定例議会において、給食センター建て替え費用やセンター方式と自校方式の違いなどについて、平成25年には、段階を踏んで学校給食の無償化を目指しての助成を求める内容の質問がされています。これに対し前町長は給食サービスの対価として、保護者が支払う、食材については保護者が負担する。この様な答弁でした。町長は前町長の答弁を踏襲していくのか。

答 前町長の発言内容については私がコメントを申し上げる事は差し控えてさせていただきます。

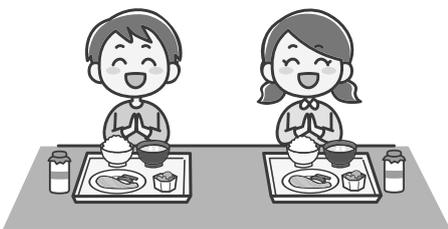
現在、給食センターでは、衛生管理の徹底、給食食材の安全の確保と地産地消の推進、アレルギー対応給食の充実等に取り組んでおり、センター方式の利点を最大限生かした運営を行っています。学校給

食費臨時補助事業については、

新型コロナウイルス感染症対策支援策の第2弾と第3弾において実施いたしました。

問 町長が行った第2弾6か月間の補助、第3弾4か月の補助、総額8890万円の支援は評価できます。今後もケースバイケースで給食費減免を行う気持ちはあるのか。

答 期間を限定した補助事業でしたが、今後も緊急事態が発生した場合は、必要に応じて支援を行いたいと考えております。引き続き子育て支援を実施し、子育て日本一の町づくり実現に向けて努力を続けていきたいと考えています。





高橋 仁

問 農業振興について

答 もうかる農業を実現できるよう努めたい

質問 1 農業振興について

問 持続可能なビジネススタイル構築に取り組むことについて。

答 現在、地球環境問題が重要な社会課題として、国際社会に認識されている。その解決策としてSDGsが掲げられており、環境問題解決と経済活動がリンクして構築される必要がある。

問 みどりの食料システム戦略について。

答 この戦略の下、当町で営まれる様々な営農体系に沿った支援を行い、もうかる農業を実現できるよう努めたい。

問 優良農地について。

答 制度や政策により捉え方は様々ですが、実施ケースに応じて保全すべき土地であるかどうかで判断されるものと考えている。

問 農地の小作料について。

答 相対で契約の利用権設定における小作料については基

準がなく、中間管理事業による場合は、平均額を参考に協議により契約されている。

問 砂利採取地の検証等ができるシステムについて。

答 砂利採取法等細かく基準が設けられており、北部環境管理事務所が指導・監督の下行われている。採取地の調査・検証等できる体制は、先進事例などの情報収集を含め調査研究を進めたい。

問 農業委員会と傍聴者の秘密保持について。

答 議場への入場基準が設けられており、守秘義務の周知を図っている。

問 転用の件について、どう説明されたのか。

答 農産物加工施設の設置は、強固で新たな販路を構築し、農地保全、農業所得の増大、担い手の育成、6次産業化、産地形成を図り、農業振興プロジェクト、人・農地プラン

の推進をしたいと農業委員会において説明した。また、地域振興に多大な貢献できる点

についても言及している。

問 補助事業について。

答 目的に沿った活用が求められる、地域において必要な経費を負担し合いながら、機械を共同利用することは、目的外利用には当たらない。

問 担い手、新規就農者等の育成について。

答 町の農業を担う人材に対して、各種補助事業等の効果的な支援を実施したい。

問 米価・農作物価格低迷について。

答 昨年は外食産業の米需要が激減し、在庫を抱える中、余剰感が下落の主な要因とされた。農作物は価格形成において、工業製品のように原価計算によるものではなく、豊作など、不安定かつ低迷するケースは多くある。

質問 2 公園の充実について

問 郷土の偉人、先達を誇りに、碑、碑文、ベンチ等を設置することについて。

答 人々が集まる場を活用し、郷土に愛着と誇りを持ち、これからの地域づくりにつながる取組を進めたい。

質問 3 上里スマートインターチェンジについて

問 インターチェンジサービスエリア周辺地区の開発について。

答 産業団地を含む一帯は、町に雇用を生み出し、町内外から多くの交流人口を生み出す重要な地域資源の一つである。公園、農業体験、水辺ゾーンの整備を進めていく。優良企業の誘致や新たな産業創設などを推進し、実質財源確保に努めてまいりたい。



上里スマートIC



一般質問

新井 實

問 4月実施の町長選挙について

答 リーダーとして町民の皆様の審判を仰ぎたい

質問 1 文科省の2020年度の「問題行動・不登校調査」について

問 不登校・自殺者が最多となったことが明らかになった2020年度の文部科学省の「問題行動・不登校調査」に対する今後の対応策について。

答 教育長 長く休んだ子どもたちへの支援の充実については、学校との関係が途切れないように、日頃からの電話連絡、家庭訪問等を行って、児童・生徒だけでなく、保護者とも連携を取っております。また、学校では、担任だけでなく、学年主任など複数の教員で対応し、内容によっては養護教諭やさわやか相談員の相談、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施しております。

質問 2 ウイズコロナについて

問 コロナ禍の中で保育園・園における保護者の「子育て

支援策」について。

答 今後、新型コロナウイルス感染症第6波の予想がされておりますが、町の保育施設の感染対策については、国・県等の方針、通知を踏まえ、保育室及び物品等の消毒、検温、手洗い、うがいやソーシャルディスタンスの徹底、ワクチン接種の推奨、3歳以上の園児にはマスクの着用、各種事業の見直し等をお願いしてきました。引き続き気を緩めずに保育所、御家庭が一体となって感染防止対策を徹底して講じてまいります。

質問 3 新型コロナウイルス「第6波」への備えについて

問 コロナ感染症危機「第6波」を克服するには即応できる医療体制の整備が急務であることについて。

答 国・県は地域住民が安心できる保健・医療提供体制の強化を求めています。町としては病床数の増加や医療従事者の確保については、救急医

療に関する会議などを利用し、保健所や本庄市児玉郡医師会などと現状確認を行いながら、今後の対応について提言していきたいと考えています。

質問 4 コロナ感染者の「後遺症」について

問 コロナ感染者の長期間続く「後遺症」に悩む人々への支援の拡充について。

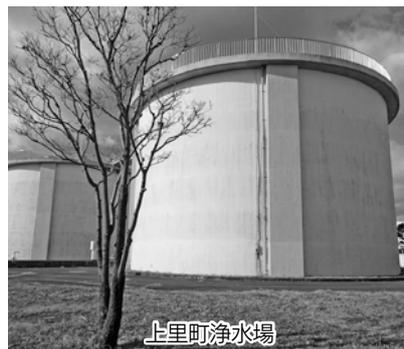
答 町としては、新型コロナウイルス後遺症で悩んでいる方へ、県の後遺症外来について周知したり、相談があった際には、後遺症の診察の流れ等について御案内します。

質問 5 水道施設の維持管理について

問 水道施設の維持管理について徹底した点検実施と人材の確保について。

答 水道施設の点検については、管路は町内を3分割し、漏水調査を調査会社に委託しています。また、構造物にあたる上里町浄水場、第二浄水

場の施設についても水道施設管理業者に委託しています。人材については、技術系の職員は現在水道施設係には配置していません。



上里町浄水場

質問 6 4月に実施される上里町長選挙について

問 4月に実施される上里町長選挙に現職の山下町長は出馬されるのでしょうか。

答 私は上里町の責任者として、またリーダーとして町民の皆様の審判を仰ぎ、誠心誠意全力を傾注して、神保原駅北口周辺の整備などを始めとして、今後地域の活性化及び振興のために最善の努力をしていく所存であります。



沓澤 幸子

問 ジェンダーレス制服・校則の議論を

答 慎重な検討必要 学校現場に投げかけたい

質問 1 子育て支援と教育環境等について

問 2018年度の「子ども」の生活に関する調査「から4年目、コロナ禍もあり改めて実態把握が必要です。内容を絞り職員の手で毎年実施できないか。恒常的な子育て支援に向け、出産祝金を増額し、出産記念品は二人目から選べるように。学校給食費は一部負担軽減からでも実施を。教材費の無料は約1750万円円で可能であり教員の負担軽減にもなる。個人購入を教材に替える軽減検討を。

答 コロナ禍など様々なことを考えると毎年簡単でも継続的な調査が出来るよう努力したい。学校給食無償化は臨時的支援としては実施したいが本庄市と共同であり厳しい。教材費とか支援の方法もあると思った。

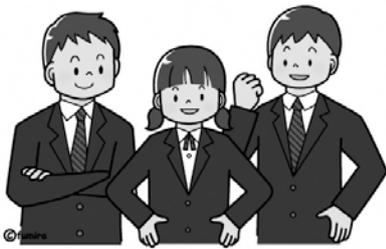
答 教育長 教材費と学級費の保護者負担の軽減を検討したい。

問 ジェンダー平等からも、学校の女子トイレに生理用品を設置し、女子生徒のストレス軽減を。

答 教育長 養護教諭研究会で引き続き検討していく。

問 夏季の体操服着用など異常気象のもと「ジェンダーレス制服」導入について本格的な議論を行ない、夏は涼しく、冬は暖かい機能的な素材の制服を目指し、多様性を大事にする時代の校則についても議論を。

答 教育長 県からも校則の点検・見直しの通知が来ている。教員サイドからも見直しが必要として今年度検討予定。ジェンダーレス制服について



も慎重な検討必要。学校現場に投げかけていきたい。

質問 2 空き家対策について

問 町が実施した、331件の空き家意向調査結果に基づいた次の対策として、管理不全66件は、特定空き家指定も含まれた対策を。返信が無かった所有者に対し、再アプローチの対策と同時に、町の空き家対策の取り組みが住民に見える対策と、「空き家等対策計画」策定の予定は。

答 回答が無かった方に再度依頼して198件、回答率63.1%であり、改めて依頼することまでは考えていない。頂いた回答を基に必要な支援や対策を検討したい。総合相談窓口を求める意見が多く、相談会開催を検討中。計画策定は検討したい。

質問 3 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の施行について

問 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が成立し、来年4月から施行されます。実施にあたり、どのような工程で回収の徹底や回収方法、住民説明や啓発を行うのか。

答 委託処理を行う公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の再商品化の申し込みが、令和5年分からの予定。保管場所・収集方法等の体制が整っていない。今年度はプラスチック混入調査把握を行い調査・研究中。実施にあたっては住民説明会の必要性を感じる。

質問 4 コロナ対策について

問 爆発的な感染拡大が起きても、入院できる病床数の拡大と臨時病院設置の体制確保と、入院・入所調整期間の保健所との支援連携体制は。

答 県は医療体制の強化の方針で体制を構築。保健所と町で連携して支援できるように準備を進めている。



高橋 茂雄

問 授乳室にごみ箱を設置して

答 町として設置することはありません

質問 1
子育て支援について

問 乳幼児の紙おむつについて、おむつもごみも自宅に持ち帰るのが一般常識です。庁舎内にも授乳室を開設したり、町の管理している公園を見ても、多目的トイレはそれなりに整備されつつあり、子育てには快適になりつつありますが、おむつを入れるごみ箱がありません。紙おむつを入れるごみ箱を設置することについてどうお考えか。

答 ごみ箱が設置されている一部の民間施設や店舗では、分別せずに押し込まれているケースや、家庭ごみが持ち込まれているケースもあるようです。自分で出したごみは持ち帰ることが他の方に迷惑をかけるという道徳心でもあり、町はそれを推進していく。よって公共施設にごみ箱を設置することは、それを逆行させることになるので、庁舎や公園に設置することはいいたし

質問 2
公園について

ません。

問 町内の公園について、芝生を敷きつめたり、樹木を植えたり次の世代に経費を払い続けさせるような公園にしたのはなぜか。どのような年代、使用目的が明確に捉えて設計しているのか。コストのかわらない公園を目指すべきと考える。町内にも子育てを支援するような新しい公園もでき、楽しく遊んでいるお子さんも見受けられます。一方でショッピングモールの駐車場

の片隅や忍保パブリック公園の駐車場、町民体育館等で自転車の練習、キックバイク、ストライダー、オフロードバイク、スケートボード等幼児から、中学、高校生まで遊んでいます。本来遊んではいけない場所であると分かっているけれど、他にできる場所が無いので仕方なくしていると思われる。町民のニーズに

合った、町民に受け入れられる公園づくりをしているのか。

答 上里サービスエリア周辺地区にオープンしたこのはな芝生広場は、人を迎え入れ、人が集まり、人が憩える空間をコンセプトに、工作物等を最小限に抑えた緑地とするこ



このはな芝生広場

質問 3
母子手帳を交付する
ときについて

問 町では、将来人口が減る予測をしていますが、魅力あ

る街づくりを目指して努力して増加に転じている市町村もあります。現在、町では出生届を提出すると祝金がもらえますが、母子手帳交付のときに渡すなど、安心して出産できる対策や子供を増やすことに町独自の対策がとれないか。乳幼児のいる家庭に、長期間雨が降り続ける日には、コインランドリー代を支給するなどのかがかか。

答 出産に要する経済的負担を軽減するため、健康保険法に基づき、一般的には42万円の出産育児一時金も支給されている。町では子育て支援の一環として、様々な事業や助成を実施し、子育てに係る費用の負担軽減を図っております。また、今年度より出生届提出時に出産祝金の支給申請と出産記念品の椅子と食器セットの贈呈をしている。コインランドリーについては、今後、ニーズや他市町村の状況、補助金の支給方法等を含めて検討していく。

議会日誌

12月

- 3日 定例会開会、町長の行政報告
一般質問、議会運営委員会
- 6日 一般質問
- 7日 全員協議会、議会運営委員会
- 8日 議案審議(条例等、補正予算)
- 10日 定例会閉会、全員協議会、
議会運営委員会
- 23日 本庄上里学校給食組合臨時議会
- 24日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

1月

- 7日 埼玉県・町村議会議長会新年懇談会
- 9日 上里町成人式
- 14日 議会広報広聴常任委員会

2月

- 4日 埼玉県町村長・町村議会正副議長
合同研修会(オンライン)
- 16日 議会運営委員会
- 17日 議会広報広聴常任委員会
- 18日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 21日 本庄上里学校給食組合定例議会
- 22日 埼玉県町村議会議長会定期総会



編集後記

平成30年5月
から始まった上
里町17期議会も、
3月議会定例会
を残すのみとなりました。
この4年の間、元号は平成
から令和に変わり、夢と希望
を抱いて幕を開けた新しい時
代。
しかし、それも束の間。世
界中で新型コロナウイルスの
感染が拡大し、町民の生活に
大きなダメージを与えました。
これらの対策に町・議会一丸
となり取り組んで参りました。
4月には改選となりますが、
こんな時代だからこそ町民の
皆さまには慎重に議員を選ん
でいただき、また投票率の向
上を図れるようお願い申し上
げます。

篠 浩之

議会広報広聴 常任委員会

- 委員長 高橋 仁
- 副委員長 植井 敏夫
- 委員 高橋 茂雄
- 委員 高橋 浩之
- 委員 高橋 勝利
- 委員 仲井 静子
- 委員 植原 育雄

3月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
					(開会) 一般質問	
6	7	8	9	10	11	12
	一般質問		議案審議 (条例・補正)	議案審議 (当初予算)		
13	14	15	16	17	18	19
				議案審議 (当初予算)	常任委員会	
20	21	22	23	24	25	26
	春分の日	(閉会) 報告・採決				
27	28	29	30	31		

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、
午後の再開は1時30分からです。(時間は変更になることが
あります。)

※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

3月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
4日(金)	納谷 克俊	①神保原駅北まちづくりについて ②事業の選択と集中について
	飯塚 賢治	①環境問題について ②町の活性化について ③防災教育について
	高橋 勝利	①日本で初めての大型商業施設に介護リハビリ施設誕生 及び若者対象のコミュニティー施設の設置について ②(神保原駅北まちづくり)協議会及び取り組み課題について ③公共下水道終末処理場予定地跡の将来構想について ④上里町小・中学校におけるスポーツ振興について ⑤危険な通学路7万2千箇所について
7日(月)	沓澤 幸子	①温暖化対策とリサイクル推進について ②くらしを守る対策について
	齊藤 崇	①令和4年4月に改正民法が施行されることについて ②新型コロナウイルス感染症第6波の感染拡大について ③コロナ禍における町独自の支援策は
	新井 實	①新型コロナウイルス禍の中で、自宅でもオンラインで 学べる環境整備について ②小学校の教科担任制の導入について ③予約制で乗り合う「デマンド交通」について ④「書かない窓口」について ⑤地方都市再生のカギについて
	仲井 静子	①住民のリサイクル・ごみ減量化の意識向上について



町民を大切にする